

ホール・劇場等問題調査部会報告

ホール・劇場等問題の検討について

1 背景

- 過去10年間、首都圏ではホール・劇場の閉鎖が続いたうえ、昨年は2020年大会に向けた大型施設の改修が重なったため、実演芸術団体等が「2016年問題」としてアピール
- 2020年大会に向け、芸術文化を活性化していく環境づくりとして、ホール・劇場等の課題について専門的かつ実務的な見地から検討するため、芸術文化評議会専門部会として、学識経験者や実演芸術団体等により構成されるホール・劇場等問題調査部会を設置

2 ホール・劇場等問題調査部会における検討

平成28年8月から、ハード・ソフトの各ワーキングを設けて以下の課題について検討

[ハード面の課題]

- ① 当面のホール・劇場等不足への対応
- ② ホール・劇場等の中長期的な課題への対応

[ソフト面の課題]

- ③ 都民の芸術文化へのアクセシビリティ強化
- ④ 観光との連携、インバウンド需要への対応

3 「ホール・劇場等施設のあり方」の公表

- これまでの部会、ハード・ソフト各3回のワーキングにおける議論の概要について、今回報告（別紙参照）
- これまでの議論に、今後、ホール・劇場等の改修・建替え・新設の動向や、実演芸術に対する都民ニーズなどに関する調査の分析内容を加え、「ホール・劇場等施設のあり方」として取りまとめ、年度末に公表し、広く情報提供

これまでの部会・ワーキングにおける議論の概要

(1) ホール・劇場等の需給の動向

- ・モノ消費からコト消費への転換などを背景に、ポップス音楽などの旺盛な需要により、ライブ・エンターテインメントの市場規模は過去最高
- ・今後、ホール・劇場、スタジアム・アリーナの建替えや新設が予定され、供給増も見込まれる一方で、施設の老朽化への対応などが課題

(2) ホール・劇場等施設のあり方

① 既存施設の有効活用

- ・ホール等と実演芸術団体とのマッチング、ホール等の運営者と実演芸術団体、国・自治体などの関係者が情報共有できる仕組みの構築が必要

② 都民の芸術文化へのアクセシビリティ強化

- ・働き方改革を契機とした仕事帰り客の取り込みや、誰もが芸術文化に親しむことができるダイバーシティ社会の実現に向けた取組みなどが必要

③ 観光との連携、インバウンド需要への対応

- ・公演情報の効果的な発信など、国内外の訪都客を取り込む環境づくりが必要

④ 中長期的な課題への対応策

- ・ホール等の建設・改修、地域との連携、人材育成などの有益な情報の提供が必要

○ ホール・劇場等問題における施設の供給状況

- ・ 東京厚生年金会館、ゆうぽうとホール、渋谷公会堂、中野サンプラザなど、交通至便が良く、収益性の高い2千席規模のホールが閉鎖され、代替になり得る施設が不足しているため、バレエ・オペラなどの興業者は、問題意識を強めている状況
- ・ スタジアム・アリーナは、2020年までの間、新国立競技場、国立代々木体育館、日本武道館など、施設の建替えや改修が続くが、2020年以降は、有明アリーナの新設などにより、大規模施設の座席供給は充足予定

1 首都圏における主なホール・劇場の閉鎖状況

- 東京厚生年金会館（2,062席）〔2010年閉鎖〕
- ゆうぽうとホール（1,803席）〔2015年閉鎖〕
- 新宿コマ劇場（2,088席）〔2008年閉鎖〕
- 青山劇場（1,200席）〔2015年閉鎖〕

2 首都圏における主なホール・劇場等の新設・建替え・改修のスケジュール

| | | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020～ |
|-----|------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 新設 | スタジアム・アリーナ | | ■武蔵野の森総合スポーツ施設(仮称)メインアリーナ（10,000席以上） | | ■有明アリーナ(仮称)（15,000席） | |
| | ホール・劇場 | | ■IHIステージアラウンド東京（1,314席） | | | 〔2020年〕 ■有明ガーデンシティホール(仮称)（7,500席） |
| 建替え | スタジアム・アリーナ | | | | □新国立競技場（60,000席） | 〔2025年〕 ■中野サンプラザ（10,000席） |
| | ホール・劇場 | | ■日本青年館（1,250席） | | ■渋谷公会堂（2,000席） ■(仮称)豊島区新ホール（1,300席） | |
| 改修 | スタジアム・アリーナ | ■さいたまスーパーアリーナ（37,000席） ■横浜アリーナ（17,000席） | | | ■国立代々木競技場(第一体育館)（13,243席）〔改修時期未発表〕 ■日本武道館（14,471席）〔改修時期未発表〕 | |
| | ホール・劇場 | | ■サントリーホール（2,006席）〔2017年2月～8月休館〕 | ■東京国際フォーラムホールA（5,012席）〔2018年1月～3月休館〕 | | |

※ 1,000席以上の主な施設を掲載 ※ □は屋外施設 ※ スタジアム・アリーナの席数は立見席を含む

※ 新設・建替えの施設は、竣工予定の時期に掲載 ※ 2017年以降に改修される施設については、現在の席数を記載